

## タイ文化研修についての報告書

未来デザイン学部 メディアデザイン学科 2年

### ・研修に参加した理由

今回タイ文化研修に参加を決めた理由は、高校の世界史の授業でタイの歴史について学んだことを思い出し実際に世界遺産に登録されている、学んだ場所などをこの目で見てみたいと思ったから。

海外へ行くと世界観が変わると聞いたので実際に本当かを確認してみたかったから。

### ・今回の研修で学んだこと

今回の研修でガイドさんから巡った観光地で色々な話を聞いたこと(ワット・ポーにある仏像など)や日本とタイの道路や電車、地下鉄などでの切符や道路での人の行き交いの違い、バンコクという発展した都市などをこの目で見る事が出来たこと。

### ・今回の研修で身についたこと

タイでの切符の買い方、暑い気候や長時間フライトの耐久力、英語が少しでも喋ることが出来れば大抵なんとかなるという気づき。

### ・今回の研修の経験を今後どう生かしていくか

今回の経験で海外へ行くことへのハードルが下がったと感じたのでこれからも海外へ行くという挑戦を持ちたい。

### ・報告担当となった研修項目の内容について

#### 自由研修

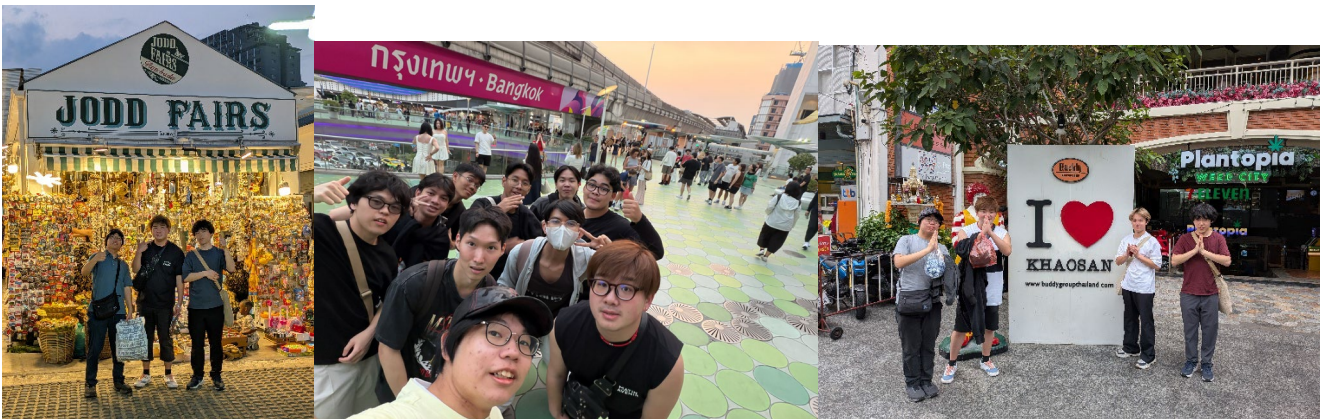
予定を変更しサイアム駅周辺にあるショッピングモールで買い物をするなどの観光をした。早めにホテルに戻りホテルを出る準備や休憩をした。

#### アユタヤ観光

ワット・プラシーサンペット、旧日本人町、水上マーケットで象乗り体験、ワット・ポー、ジョッドフェアナイトマーケット等へ観光に行った。ボートや象に乗るなどの初めてを多く体験した。

#### 学生交流

PIMの学生と単語当てゲームやネットで流行りの遊びをした後、サイアム駅周辺のショッピングモールで買い物をするなどの交流をした。



## 海外研修プログラム 報告書

工学部 電気電子工学科 3年

## ・研修に参加した理由

大学生活が折り返しを迎えようとしている中、進路や将来について考える際、自身の世界の狭さや経験の少なさを強く感じた。これまでの学生生活では、国内での生活や人間関係のみに留まり、類似した価値観を共有する人たちの中で過ごしてきた。タイは、急速な経済成長と伝統文化が共存している中、子どもを暴力のような危険から守る法律が機能していない等の社会問題を抱えている。日本で日常に馴染んだ身として、異なる文化や価値観に触れることは自身を成長させる貴重な機会であると考え。現地での学生との交流において、異なる価値観や暮らしに触れることで、固定観念にとらわれない柔軟な思考力と、異文化の中でも臆せず行動できる主体性を育むため、本研修に参加した。

## ・今回の研修で学んだこと

今回の研修を通して、語学だけでなく異文化理解の重要性について学ぶことができた。特に現地の学生との交流や北洋銀行のタイ駐在所訪問を通して、自分の中で当たり前だと思っていた価値観が必ずしも他国でも通用するものではないことを実感した。例えば、主に仏教の重要な祭典日と選挙日に禁酒日が設定される。これらの日には、アルコールの販売や、騒音を伴うカラオケやバーの営業に規制が加えられ、冷蔵庫が施錠され、販売が禁止される。学生交流では、文化や生活習慣の違いについて直接話すことで理解を深めることができ、企業訪問では海外における日本企業の役割や現地との関わり方について具体的に学ぶことができた。

## ・今回の研修で身についたこと

この研修を通して、英語でのコミュニケーション能力や主体的に行動する姿勢が身についたと感じている。最初は英語で話すことに不安を感じていたが、実際に交流を重ねる中で、完璧な文法よりも伝えようとする意欲が重要であると実感し、自ら積極的に話しかけることができるようになり、簡単な表現でも意思疎通を図る力が身についたと感じている。また、慣れない環境の中で行動する経験を通して、主体性も養われたと考えている。現地での活動や自由行動の場面では、自分で状況を判断し行動する必要性があり、その中で自ら考えて動く力が身についた。これらの経験を通して、単なる知識だけでなく、実際の行動や意識の面での成長を実感することができた。

## ・今回の研修の経験を今後どう生かしていくか

今後は、この研修で得た経験をより具体的な行動に結びつけていきたいと考えている。まず、英語でのコミュニケーション力を向上させるために、日常的に英語に触れる機会を増やし、自ら積極的に発信する姿勢を継続していきたい。また、学生交流で得た経験を踏まえ、異なる価値観を持つ相手に対しても理解しようとする姿勢を意識し、日常生活や学内での人間関係にも活かしていきたい。

また、北洋銀行の訪問で学んだ国際的なビジネスの視点を踏まえ、将来に向けて経済や企業活動に関する知識を深めていくとともに、海外と関わる仕事についても主体的に情報収集を実践したいと考えている。

・ 報告担当となった研修項目の内容について

学生交流

現地（PIM）の日本語学科の大学生とグループ形式でコミュニケーションを行い、日常生活について話し合った。交流の中では、日本語での会話が主であったが、難しい言葉を伝えるのが難しく話が進まないと感じる場面もあったが、相手も積極的に話しかけてくれ、ジェスチャーなども交えながら意思疎通を図ることで、円滑にコミュニケーションを取ることができた。現地の大学生は、日本独自の食文化や伝統などに対して強い関心を示しており、日本訪問を肯定的にとらえていた。

## 海外研修プログラム 報告書

工学部 機械工学科 3年

## ・研修に参加した理由

私は、タイの食文化や働き方について、実際に現地で体験し、雰囲気や価値観を肌で感じてみたいと考え、本研修に参加した。日本で得られる情報だけでは分からない、現地ならではの生活や文化、働き方の違いを直接見ることで、より深い理解が得られるのではないかと考えたためである。特に、タイの食事は日本とは味付けや食材、衛生環境などが異なると聞いており、実際に体験することでその特徴や注意点を学びたいと思った。また、働き方についても、日本とは異なる価値観や考え方があると考えられるため、現地の様子を観察し、自分の将来の視野を広げるきっかけにしたいと考えた。さらに、異文化の中で生活することで、言語の違いやコミュニケーションの難しさ、重要性についても実感し、自身の対応力や適応力を高めたいという思いもあった。これらの経験を通して、多角的な視点を身につけ、今後の学習や将来に活かしたいと考え、本研修への参加を決意した。

## ・今回の研修で学んだこと

タイでの食事は、日本とはなる味付けや食文化が特徴的であった。辛味・酸味・甘味が組み合わさった料理が多く、屋台などで手軽に食事ができる点が印象的であった。一方で、衛生面や体調管理にも注意が必要であったが、卵からサルモネラ菌に感染し、食事環境の違いについて実体験を通して学ぶことができた。また、タイの公共交通機関は BTS やバス、バイクなど日本と似た、移動手段があると感じた。しかし、バスにエアコンがない場合や、車の隙間をバイクが通り抜ける姿は日本では考えられない景色であった。そして、タイでは、タイ語が多かったが、英語が伝わる機会が多く、英語力を試すいい機会となった。

## ・今回の研修で身についたこと

本研修を通して、異文化に対する理解力や適応力に加え、予期せぬ状況への対応力を身につけることができた。特に、体調を崩しタイの病院に入院するという経験を通して、海外で生活することの難しさと重要な備えについて深く学んだ。入院中は、言語の違いや医療体制の違いに戸惑う場面も多くあったが、医師や看護師と通訳者の簡単な英語やジェスチャーを用いて意思疎通を図ることで、コミュニケーションの大切さを実感した。また、普段当たり前に感じている日本の医療環境の安心感や充実度についても改めて認識することができた。さらに、体調管理の重要性についても強く学んだ。食事や水、環境の違いによって体調を崩す可能性があることを実感し、自己管理の意識を高めるきっかけとなった。この経験を通して、事前の準備や健康管理がいかに大切であるかを理解することができた。

## ・今回の研修の経験を今後どう生かしていくか

本研修で得た経験を、今後の生活や将来に積極的に活かしていきたいと考えている。特に、異文化の中で生活した経験から得た柔軟な考え方や適応力を、日常生活や人との関わりの中で発揮していきたい。異なる価値観を受け入れる姿勢を大切に、多様な考え方に対応できる人間になりたいと考えている。また、言語

の違いによるコミュニケーションの難しさを経験したことから、今後は英語などの語学力の向上に努め、より円滑に意思疎通ができるよう努力していきたい。さらに、言葉だけに頼らず、相手に伝えようとする姿勢や工夫も引き続き大切にしていく。加えて、今回の研修で体調を崩し入院した経験を踏まえ、今後はより一層健康管理に気を配り、事前準備の重要性を意識して行動していきたい。どのような環境でも安心して行動できるよう、自己管理能力を高めていく。これらの経験を通して得た学びを活かし、将来は幅広い視野を持ち、どのような環境にも対応できる人材へと成長していきたい。

